

H. A. 英語英文学科・2 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校の頃に留学に行きたかったのですが、コロナの関係で海外に行くことができなかった
ので、大学生になったら海外留学に行きたいと考え始めたのがきっかけです。同志社女子大
学に入学し本学の協定留学が良い留学制度だなと感じてから、本格的に留学を意識し始め
ました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

私は IELTS を受験しました。イギリス英語の方が馴染みがあったのと、スピーキングのテ
ストが面接だったので IELTS を選びました。IELTS の対策テキストと単語帳を購入し、
IELTS の問題の傾向を知り対策をしました。選択問題ではなく記述式なので、スペルを覚
えるためにも簡単な単語から復習がてら勉強したことが役に立ったと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

IELTS の単語帳を引き続き勉強しました。他には、映画や YouTube を英語で見たり、独り
言は意識的に英語を使ったりしました。実際、文法を完璧にするよりも単語を覚えたことが
よかったと感じています。

◆ ビザ申請方法

インターネットで事前に申請し、アメリカ領事館に行きました。アメリカ領事館では短い面
接をしたりしましたが、空港での入国審査と似た内容の質問をいくつか答えました。

◆ その他

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

大学の先生と学生が車で迎えにきてくれました。シャーロットビル空港から車で 45 分ほど
で大学につきました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

大学の施設や大学周辺について、現地の学生や先生が案内して教えてくれました。現地の新
入生と一緒にオリエンテーションを受けたので、小さなセレモニーやカーニバル等、学生同
士が交流できるイベントもありました。

◆ その他必要な諸手続き方法

現地で、銀行の口座開設はしませんでした。親の口座に繋がっているクレジットカードを 2 枚持って行き、支払いはほぼクレジットカードで行いました。寮や食事の費用は、秋学期と春学期どちらもクレジットカードで支払いましたが手数料がかなり高かったです。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について・・・無

◆ 授業内容、課題、試験

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学は田舎にあるので、とても落ち着いていますが、スーパーマーケットや空港までは少し遠いです。大学の中にクリニックやカフェ、図書館、小さなシアタールームがあり、学生は自由に利用することができます。

◆ 履修科目について

・ Sustainability and business

持続可能な社会にするために企業がどのような取り組みをしているのかを、実際の企業について調べながら学びました。そのため企業について調べレポートの提出や、プレゼンテーションを行うことが多かったです。ペアでの課題も多かった印象ですが、課題の内容は簡単なものが多かったです。先生がとても優しく親身になって話を聞いてくれる方でした。

・ Social media

初めの授業で 3 つのプレゼンテーションの課題が出され、自分が決めた日に授業内で発表しました。一つ一つは短く、好きな日を自分で決めることができるので大変ではありません。最終課題は、内容は簡単ですが時間がかかるものだったので、一緒に授業をとっていた友達と夜遅くまで頑張ったことを覚えています。

・ General sociology

基本的な社会学の授業です。先生が優しく授業も落ち着いた雰囲気なので、発表や質問がしやすかったです。課題やテストは、授業を聞いていればそれなりの点数がもらえます。

・ Marketing principles

授業の最初に 10 分ほどの予習のテストがあります。それまでに、教科書を読んでおく必要があります。授業内で発言やテストの点数で成績が出るので、授業で意見を言う必要があります。テストは、小テストの内容を勉強していれば大丈夫でした。

・ Beginning Japanese

日本語のアシスタントティーチャーとして授業に参加しました。日本語を全く知らない生徒がほとんどでしたが、最後には少し話せるようになっていて嬉しかったです。

・ **Children's/ Young adult lit**

絵本や子供向けの小説について学ぶ授業です。全部で 8 冊の本を読みました。読んだ本のジャーナルと 4 つのレポートと最終レポートがあります。課題が多く感じますが、子供向けの本であることと授業中に他の生徒の意見も聞くことができるので、難しくはありません。プレゼンテーションもありますが、先生が優しくアドバイスもくれるので楽しく授業を受けることができました。

・ **Drawing I**

絵を描く授業です。出席を大事にする先生でしたが、週に 2 回の授業なので問題はありませんでした。先生は、陽気な方で面白かったです。一番コミュニケーション能力が必要な授業だったように感じます。

・ **Public relations**

PR について学ぶ授業でした。課題が多く、書く量も多いので大変でしたが、提出すると良い点数がもらえます。最後にグループワークがあり、授業以外で集まってプレゼンテーションを作ったりレポートを書いたりしました。

・ **Management principles**

先生がとても元気な方で、よく質問をされるので授業をきちんと聞いておく必要があります。ペアでのプレゼンテーションとレポートの提出が 1 回ずつあります。一週間に一度チャプターごとの小テストと 3 回のレポートの提出、ファイナルテストがあります。

・ **Everyday mindfulness**

メイタームの授業でマインドフルについて学びます。先生が穏やかな方で、授業も落ち着いていて発言がしやすい雰囲気です。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

していません。

⑧ **現地での住まいについて**

◆ **語学研修期間・・・無**

◆ **正規科目履修期間**

私が住んでいた寮は 2 人 1 部屋でシャワーやトイレは共用でした。大学が始まって初めの頃は住んでいた寮が新入生の寮だったこともあり、夜まで騒がしいこともありましたが、後半は比較的静かだったように感じます。フロアごとにレジデンスアシスタントの上級生がおり、騒がしかったり問題が起きたりするとすぐに対処してくれました。食堂では昼も夜も

サラダバーがありサラダはいつでも食べられますが、サラダ以外の料理はランダムで昼と夜が全く一緒だったり、夜にはメニューが減ったりします。カフェでは、食堂のミールプランを使ってハンバーガーやチキン、アサイーボールなどをオーダーすることができます。寮に 1 つ共用のキッチンがあり料理をすることもできます。

⑨ 長期休暇の過ごし方

寮から出ないといけなかったのが他の留学生と旅行したり、ホストファミリーの家に泊まったりしました。飛行機やホテルは日本と比べるととても高額ですが、いろいろな場所に観光に行くのは貴重な経験なので、行ってよかったと思っています。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

していません。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

何をするときも友達と一緒にいて、共用生活することが私にとって初めてだったので楽しかったです。ルームメイトと一緒に課題をしたり夜遅くまで話したり掃除をしたり、何気ない日常が特別で楽しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

私は友達と一緒に過ごすことが大好きなので、困った時には相談したり思いっきり遊んだりしてストレスを発散していましたが、どこに行っても人がいるので完全に 1 人きりになることが難しいです。ストレスを発散できる、趣味などがあれば良いなと思いました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

あまり時間や約束を守らないことや価値観の違いがありました。また、シャワーを毎日浴びない人も多いかと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

他の大学よりも規模が小さいので、パーティーやイベントが少ないです。しかし、その分羽目を外しすぎたり、勉強に集中できなかったりすることはなかったのでよかったと思います。小さい大学なので、友達も作りやすいと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは日本から持って行きました。課題の提出はすべてオンラインだったので、自分のパソコンを持っていく方が良いと思います。おかしやスープはお腹が空いた時にすぐに食べられるので持って行ってよかったと思います。食堂のご飯はパラパラしたご飯だったので、日本のお米が恋しくなった時にサトウのごはんなどを食べました。サトウのごはんのよなものは、近くのスーパーマーケットにも売っていましたが高かったです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

コミュニケーション能力が上がったと思います。リスニングする機会が増えたことと、言いたい単語がわからなくても知っている単語でカバーして伝えることができるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行くことや現地での生活に不安があるかもしれませんが、実際に行ってみると想像していた世界と全然違って、毎日が新鮮で楽しいです。今しかできない貴重な経験だと思うので、興味がある方は行ってみると良いと思います。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

まだ、未定ですが、英語圏に限らず海外の方と接することができることをしたいです。

V. 写真



Sustainability and business の先生と記念に撮った写真です。とても優しい先生でした。



冬休みに友達と LA に行った時の写真です。



ワシントンにバスケットボールを見に行きました。ワシントンまでは電車で2時間弱で行けるので何度か行きました。

H. M. 英語英文学科・2 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由（きっかけ、留学を考え始めた時期）

留学をしたいと入学した時から考えていて、1 年次の夏休みから協定大学留学や語学留学などの情報収集を始めました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

BBC News のアプリをリスニングの練習として、毎日聞いていました。また、自分の興味のある Podcast を聞くなど、できるだけ英語に触れる生活をしていました。他にも、スピーキングの練習として週に 1 回ラーニングコモンズで行われる英会話に参加したり、IELTS のスピーキングの練習を先生にお願いしたりしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

上記と類似していますが、ラーニングコモンズに Chatroom があるのでそこで、先生とスピーキングの練習を行ったり、留学生と仲良くなり、そこで英語のスピーキングの練習をしていました。

◆ ビザ申請方法

前にアメリカのビザを取っていたことがあったので、ウェブサイトで情報を入力して、大使館にパスポートを郵送するだけでビザを取得することができました。

◆ その他

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

シャーロットビル空港から車で 1 時間程度のところにありました。事前に飛行機の時間を伝えていたので、先生とアンバサダーの学生が迎えにきてくれました。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

学校案内、図書館の使い方、大学周辺を探索しました。

◆ その他必要な諸手続き方法

現地で口座開設などは行っていません。全てクレジットカードやデビットカードを使って払っていました。たまに、インターナショナルのカードであったとしても日本で作ったカードが使えない Web サイトがありました。友達のカードを使わせてもらったりしていました。

⑤ 語学研修期間 . . . 無

◆ 語学研修先の施設・環境について

◆ 授業内容、課題、試験

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

全体的に施設は綺麗でした。1 年生の寮に今回滞在していたのですが、エレベーターが壊れて動かなくなるということが何回かありました。

◆ 履修科目について

・ Management Principle

この授業では、マネジメントの基礎を学びました。また、さまざまな企業を取り上げ、それぞれのようなマネジメントの方法を使用しているのかなども学びました。週に 1 回、選択と記述のクイズがオンラインで行われました。また、レポートを 3 回出しました。それ以外にもプレゼンテーションが 1 回ありました。中間テスト、期末テストは全てオンラインで選択形式でした。

・ Public Speaking

この授業は講義形式と実践するクラスの 2 つが含まれていて、スピーキング、特にプレゼンテーションを効果的に行う方法を学びました。また、ゲストスピーカーが講義形式の授業によく来るので、そこでさまざまな業種の仕事内容を学ぶことができます。中間試験と学期末試験がオンラインで行われ、プレゼンテーションが 3 回程度ありました。授業中に発言することや、プレゼンテーションを行ったことで、スピーキング力が上がったと感じる授業でした。

・ Cultural Anthropology

この授業では、さまざまな民族について学習します。このクラスでは、何度かクラス内のディスカッションがありました。中間、期末テストは、授業内に学習したことについて自分の言葉で詳しく説明する形式のペーパーでした。自分が知らない単語が出てくるので、復習が大変だったかなと感じました。それほど難しいクラスではなかったです。先生も留学生ということを理解し、授業内や授業後に理解できたか聞いてくださり、サポートしてくれました。

・ Sustainability and Business

この授業は環境に配慮した会社やどのような取り組みが地球に影響を与えているのかなどを学びました。レポートやプレゼンテーションを授業内に 2 回行いました。また、授業内容の小テスト、中間テスト、学期末テストが行われました。選択と記述がまざった形式でした。特に難しい授業ではなかったのですが、分からない単語がリーディングの際に多く、テスト勉強は苦労しました。

• **Beginning Japanese I**

週に 1 回 TA として参加しました。課題は特にありませんが、生徒の宿題の添削を行いました。

• **Advanced Fitness**

ランニングや機械を使用した有酸素運動をしました。課題は特にありませんでしたが、クラスディスカッションが何回もあり、パワーポイントの作成、2 ページのレポートを 2 回ほど提出しました。期末テストはペーパー 2 枚でした。トラックを 8 周走るなど大変な時もありましたが、先生がとても優しく毎回楽しかったです。

• **British Literature Before 1780**

課題は、指定された箇所の文学作品を読み、Reading Response というペーパーを毎回提出しなければならなかったです。また、それとは別に最低 4 ページのレポートを 4 回提出しました。この授業は、古英語や中英語などが使用された文学作品を読まなければならないので、理解するのに時間がかかり、苦労しました。しかし、先生が親切な方だったのでわからないことがあれば質問しに行っていました。期末テストがありました。

• **Introduction of Literature**

課題は、とても多い印象でした。また、読まなければならない作品が多く、苦労しました。Response Paper というペーパーを 3 回程度、Formal Paper というのを中間、期末の期間に 2 回提出しました。またそのほかに中間テスト、期末テストがあるので常に忙しかったです。

• **Psychology as a natural science**

基礎的な心理学を学習しました。心理学の用語が難しくテスト勉強をするときに、日本語訳を検索して、どのような働きをするのかなどを理解するのに時間がかかりました。大きなテストが 4 回行われました。また、授業後に毎回小テストがありました。TA がいたのでそこでテスト範囲をもう一度教えてもらい、友達を作り、その友達とテスト勉強をするなどしていました。

• **Marketing Principle**

効果的なマーケティングの方法や多くの企業を取り上げ、そこでの問題や広告の活用方法などを学びました。課題は、毎回ある小テストに向けたリーディングで、特にレポートなどはありませんでした。中間テスト、学期末のテストがクラス内で行われました。

• **Gender and Sexuality**

ジェンダーやセクシュアリティについて、現代のアメリカ国内だけでなく、昔と現在のアフリカなど他の国、民族などを比較しながら性の認識の変化について学びました。またグループワークでは MBU 内で考えられる性に関する問題を他の大学のシステムとの違いを何個か挙げてプレゼンしました。また中間、期末テストがありました。記述形式でオンライン

でした。

・ **Everyday Mindfulness**

この授業はメイトームのクラスです。自分自身を客観的に見たり、瞑想などをする授業でした。課題は、毎回クラスディスカッションを提出しなければならなかったです。特に難しい授業ではなく、先生もとても優しい方でサポートが手厚いと感じるクラスでした。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

Apple Day という日があり、ボランティアとしてりんご農園に行き活動した。

⑧ **現地での住まいについて**

◆ **語学研修期間**

◆ **正規科目履修期間**

寮に滞在していました。2 人部屋で、ルームメイトは他大学の日本人留学生でした。トイレ・シャワーは共同で、食事はミールプランを利用していました。たまに日本食が食べたい時は持ってきたご飯や、ウーバーイーツをしたりして食べていました。クラスは寮から歩いて行きました。遠い建物は歩いて 10 分くらいで、近い建物は歩いて 5 分以内に着きます。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

冬休みは寮に滞在することはできなかったのもので、旅行に行ったり、ホストファミリーの家に泊まらせてもらいました。

⑩ **留学期間中の就職活動の取り組み**

特にしていませんでしたが、インターンシップなどを探したり情報収集を時間があるときにしていました。

Ⅱ. 留学の感想

① **留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること**

現地の学生と仲良くなり一緒に遊んだり、留学生全員でワシントンを旅行したのは、すごく楽しかったです。

② **留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと**

課題が一番苦勞しました。文学の授業を春学期に 2 つ履修していたので、毎週課題に追われて大変でした。また、中間、期末テストの期間には、他の科目もテストやペーパーがあり、夜の 11 時まで図書館でほぼ毎日勉強をしていました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

他の人のことを考え、夜中は静かにすると思っていましたが、そのようなことはなく、夜中まで廊下が騒がしいことがあり、考え方が少し違うなと感じました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

少人数制だったので発言がしやすかったです。また、どの先生もとても優しく困っていることがないか確認してくださったり、クラスメートもとても優しく授業が楽しかったです。悪かった点は、留学生が入寮していた1年次生の寮ではよくエレベーターが止まって階段を使わないといけないことが多く、だいたい旅行に行くときや帰ってきたときに壊れていたので大変でした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必要だと思います。レンジで作れるご飯を何個か持って行ったほうがいいと思います。現地でもご飯は食べられますが、日本のもののほうが美味しいです。生活用品をたくさん持って行かなくても現地で買えるものが多いので、あまり持って行かなくていいかなと思いました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語のスピーキング力はすごく上がると思います。何か問題が起こったときに、英語を話さなければいけないので一番変化があったと思います。また、授業中にディスカッションが急に始まったり、急に何かするとなったときに説明をしっかりと聞いていないと対応できないのでリスニング力も上がると思います。また積極性なども変化したかなと感じます。最初は、自分自身の英語力を理由に先生に質問することなど控えていましたが、現在では質問があったらすぐに先生に聞いたり、授業に関係ない話でも困っていることがあったらすぐに話しに行っていました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学して物事の見方が変化したなと感じます。また、自分の成長がすごく目に見えてわかるなと感じます。留学生同士助け合いながら多くの困難を乗り越えてきました。1セメスターだけでも他の留学生ととても深い絆を築くことができました。留学中にできた友達は一生物だと思います。私も最初は留学するかどうか迷っていましたが、今では留学して本当によかったと心から思います。

IV. 将来の目標

現在は、英語を活用し、日本国内だけでなく海外でも活躍できる企業に勤めたいと考えています。

V. 写真



ルームメートの誕生日を留学生でお祝いしました。



大好きなウォリアーズのゲームを見に行きました。



ホストファミリーの家でインドに帰国するお友達と写真を撮りました。



ホストブラザーのバスケットを見に行きました。



みんなでスケートに行きました。